



●ガバナー 成田 秀治 ●会長 西尾 和樹 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 吉田 立盛

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

## 第 2207 回 例会 記録

《創立記念例会》

2022 年 4 月 14 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1639



吉田副 S A A



### 《ゲスト》

RID2830 ガバナーノミニー

築館智大様 (八戸 RC)

RID2830 南グループ AG

岩岡隆雄様 (八戸東 RC)



《出席報告》中村委員長

正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 20 名。出席率は 74.1% です。

### 《会長要件》西尾会長



みなさん、こんにちは。本日、誕生日を迎えまして 39 歳となりました西尾です。私が生まれた年の 8 年前、昭和 50 年 4 月 19 日に八戸南ロータリークラブが創立されました。

本日は、創立記念例会として、元 RI 理事、黒田会員より卓話をお願いしています。当クラブ創立のスポンサークラブは八戸ロータリークラブ、八戸東ロータリークラブ、八戸北ロータリークラブです。本日の創立記念例会に、スポンサークラブである八戸ロータリークラブの築館智大ガバナーノミニーと八戸東ロータリークラブの岩岡隆雄ガバナー補佐に来ていただいたこと、大変うれしく思っています。ありがとうございます。

### 《幹事報告》慶徳幹事

・先週の理事会報告でお話した蕪島清掃は 4 月 29 日 (祝) に決まりました。集合時間は 10 時、後程 FAX もしくはメールで出欠の確認をします。

・レターボックスに日にちを訂正したよろず相談のチラシを入れてあります。古いチラシがお手元にある方は日にちの部分で訂正してお使いください。

・クラブのホームページにもよろず相談の記事を載せてありますのでご覧ください。

・ハイライト米山、ザ・ロータリアン英語版が届いています。

・一葉会様より今年度の役員の案内が届いています。



### 《ニコニコボックス》米内副委員長

岩岡ガバナー補佐：会長、お誕生日おめでとうございます。

西尾会長：築館ガバナーノミニー、岩岡ガバナー補佐、ようこそ。本日、創立記念例会です。

慶徳幹事：築館ガバナーノミニー、岩岡ガバナー補佐、ようこそお越し下さいました。

黒田会員：ガバナーノミニー、ガバナー補佐、今日はおいで下さりありがとうございます。

米内会員：写真ありがとうございました。

伊藤会員：祝 創立記念!!

清川会員：次年度理事役員の皆さま、準備理事会よろしくお願ひいたします。

吉田賢治会員：築館ガバナーノミニー、岩岡ガバナー補佐、ようこそ。黒田元 RI 理事の卓話楽しみにしておりました。

配偶者誕生日：西村会員

### 《委嘱状伝達》清川会長エレクト



吉田立盛次年度公共イメージ向上委員

## 《ご挨拶》 築館ガバナー ミニー



皆さんこんにちは、今日は皆さんにお願いに上がりました。三つほどあります。私がガバナーをやらせていただくにあたり、この三つは欠かせないと思ひまして、一つ目は私の年度の時にゆるキャラを作ります。公共イメージのひとつとして、くまモンみたいな着ぐるみを作ります。色々な奉仕活動の場やマスコミ相手に活躍してもらおうかなと思っています。デザインはどうするかと言いますと、一般に公募してロータリーの事を知らない方々から多数応募されても困りますので、インターアクト、ローターアクトの子どもたちにデザインを募集します。こちらのクラブは八戸高校にインターアクトをお持ちですから、募集要項は八戸高校とこちらのクラブにお送りしています。地区のホームページにもバナーを貼ってありますので、そちらからも応募要項が分かるようになっています。ぜひこの機会にインターアクトの子どもたちとコミュニケーションを活発に取って、盛り上げて頂きたいと思っています。今年の10月にむつで地区大会がありますが、その時にデザインを発表したい、次年度こんな感じの着ぐるみが、常に私の横に居ますよと言うような発表したいと思ひます。地区大会では国際大会の案内もあると思ひます。私の年度はシンガポールですがそういった発表をする時に一緒に発表したいと思っています。締め切りは6月末にしてあります。ですから後2ヶ月半ございますので是非かわいいものを作って、私たちの奉仕の場、こちらのクラブはよろず相談をやられていますが、そういった場に着ぐるみを着た会員が手を振ったりとかする、何を狙っているかという、ロータリーの敷居をちょっと下げよう、一般の方々にロータリーがより身近になっていただきたいというように私は考えています。敷居を下げるということは、ロータリーの事を皆さんに知っていただく機会が増えて、ゆくゆくは会員増強になるのではないかと考えていますので、是非インターアクトの子たちとコミュニケーションをとって作っていただきたいというのが一つ、

二つ目は地区大会の時に皆さんからいただいている協力金の中から、大体100万円位どこかに寄付しています。源新さんがガバナーの時は八戸市の美術館に椅子を寄贈しました。成田ガバナーは世界遺産になった縄文遺跡の案内板を2カ所に作りました。私は、皆さんからいただいた協力金なので使い道を公募したいと思っています。一般に公募するわけにはいかない、ロータリアンの方々にお願いして、皆さんの周りに色々な奉仕団体があると思ひます。例えば近所のご婦人たちが町内で花壇を一生懸命作っているというようなことでも良いですし、NPO法人でも良いです。こういう方たちに100万円を寄贈したい、50万円、50万円の二口でも良いですが、公募して委員会を立ち上げてどこの奉仕団体にしましょうというのを決めたいと思っています。大体はガバナーの専権事項で地元へ何かを寄付しますが、私はそれを青森県全域に広げたいと思ひます。但し一般のロータリアンの方からの推薦が必要になりま

す。そうしないと、その奉仕団体が反社会的な所とつながっていないかとかを一つ一つ調べるのは非常に難しいので、保証人になってくれとかはありませんが、ロータリアンがきちんとリサーチしていただいて、この方々だったらいろんなことをやってくれるだろうなという団体に寄贈しますので、皆さんアンテナを張って近くにそういう方々がいたら教えて下さい。応募要項はホームページにバナーを張りませんが、クラブへもお届けいたしますので、読んでいただいて推薦をしていただければと思っています。

最後にもう一つ、地区大会の冊子を作ったときに委員会組織図とかがあり、私の時の地区幹事長は石橋信雄さん、ホストクラブは八戸クラブと書かれます。その下に必ずコ・ホストクラブとして皆さんのクラブを初め南グループの各クラブの名前が出てきます。ですから一緒にやりましょうということです。例えばやらなければならない事が7、8個あります。PETS、DTTS、とかDTAとか地区大会、国際大会推進委員会とか、ゆるキャラはスタートしていますので、先ほど言った奉仕団体を決める委員会とか、7、8個より多いかもしれませんがあります。出来ればその中で、自分がこれやってみたいとか、PETSに出席された方は今度は運営側でやってみようとか、そういった事がありましたら是非うちの事務局の方に連絡いただきたい。一緒になって、いろんな企画を練り上げて、一緒にやっていきたいです。八戸クラブは人数が多いから勝手にやりなさいと言うのも一つですけど、折角ですから小さいクラブでも、大きいクラブでもガバナーが輩出できるように、南グループから出るなら、南グループが支えて、この地区を盛り上げたいのではないかと考えましたので、是非皆さんの参加をお待ちしています。

## 《ご挨拶》 岩岡南グループ AG

皆さんこんにちは、本日は2月のIMを行うことが出来なかった、その代わりに冊子を皆さんのお手元にお届けする、今日は私の仕事はこれだけでございますので簡単に終わらせていただきます。組織的にも、裏表紙の所に実行委員会の組織がありますが、実際に機能している部分は少なかったもので、費用に関しても東ロータリークラブの方で、地区から若干のお金を頂いて作らせていただきました。皆さんにはご負担のないようにさせて頂きましたので、どうぞIMに代わるものとしてご活用いただきたいということのご挨拶です。簡単ですけども、ひとつ御利用下さい。ありがとうございました。



## 《会員卓話》 黒田会員



今日はちょうど八戸クラブからガバナーノミニーがいらっしやっています。私たちのクラブは47年前に、八戸クラブから檜山弥太郎さんが特別代表として私たちのクラブの会員になってくれ、基礎を作ってくれました。ありがとうございました。そのときのガバ

ナーは青森東の小山内 績という弁護士の方で、当時は第354 地区で秋田と一緒に。先程ノミニーが述べられていた色々な行事は、みんなバスに乗って秋田まで山越えして行ったことを思い出します。スポンサークラブは八戸クラブのほかに八戸東クラブと八戸北クラブです。私が入会したのは創立 3 年目でしたけれども、当時のクラブ会長は村木さんで、初代の渡辺会長は外科医で、市のゴミゼロ運動をやっている方でした。クラブは形式的な事はすべて八戸クラブのやり方をまねして、追いつこうと必死でした。現在のように私たちのクラブで、色々プログラムを実行していくなんて、今思うと嘘みたいです。

#### 八戸南ロータリークラブの創立

- ・創立総会 1975 (昭和50) 年4月19日
- ・地区ガバナー 小山内 績 (青森東クラブ、弁護士)
- ・秋田県側と共同のRI第354地区
- ・特別代表 楢山弥太郎 (八戸クラブから移籍してくれる)
- ・スポンサークラブ 八戸・八戸東・八戸北
- ・初代会長 渡辺英敏 (外科病院医局長)、幹事 村木哲夫
- ・黒田が入会したのはクラブ創立3年後で、楢山さんから八戸クラブを手本にして、形式的に整えるクラブづくりを目指していた。秋田県側と共同の地区であり、秋田にたびたび行く。

2021-22年度 国際ロータリーゾーン1A,2,3

#### 第50回ロータリー研究会の参加報告

2021年12月5~8日

メルパルクホール/オークラホテル東京  
報告者の1名として参加 黒田正宏

それでは今日クラブ会長から与えられたテーマについて簡単にお話します。去年の12月初

めに「第50回ロータリー研究会」が日本の代表を集めて東京で行われました。国際ロータリーが求めていることと、日本のロータリークラブがどういうふうに対応しているかについてスライドをお見せしながらお話ししたいと思います。今日はガバナーノミニーとガバナー補佐からのお話もあるということで、スライドはやめて急遽プリントを用意しましたので、そちらを見てもらいながら進めたいと思います。

資料2は財団セミナーの時に財団管理委員会副委員長、韓国のソウル・新漢陽クラブのユン・サンクァンさんがオンラインで分かりやすく説明しました。「財団は国際ロータリーという身体の中を流れている血液です。ロータリーに栄養と酸素を与え、生命を維持しています。ロータリーの奉仕と活動のために十分な血液が必要です。みなさんご協力ください」というお願いでした。

#### ロータリー財団管理委員会副委員長 ユン・サンクァン (ソウル・新漢陽) の説明

財団は国際ロータリーという身体の中を流れている血液です。ロータリーに栄養と酸素を与え、生命を維持しています。ロータリーの奉仕と活動のために十分な血液が必要です。みなさんご協力ください。

#### ロータリー日本財団の業務執行報告

- ・2021年度 10月31日までの (条件: オンライン講義参加) グローバル補助金奨学生: 8名
  - ・ロータリー平和センタープログラム 要入れ: 9名
  - ・ロータリー日本財団のロゴマークを変更
- 協力財団として、財団のガイドラインにしたがう。  
・奨学生選考委員会委員の1名が変更

資料3は私の担当した「ロータリー日本財団の業務執行報告」です。私は奨学生の最終選考をいまも担当しています。

去年から今年まで、発表は期間の関係で7月から10月迄の3ヶ月分です。オンラインの講義に海外の大学でも参加できるという条件を付けて選びました。グローバル補助金奨学生は8名、世界から日本にきたいという方は、ロータリー平和センタープログラムで、受け入れは9名でした。コロナ禍や、今は戦争がありますけれども、毎月1人くらい日本にきたいという奨学生がいます。日本からも海外に行きた

い、イギリス、オーストラリアとかの戦地から離れたところですが、留学したい方がいます。若い学生には海外に行って勉強したい、あるいは日本にきたいという人がいるということです。ロータリー日本財団のロゴマークが変更になりました。資料にあるような形のロゴを新たに作りました。これは協力財団として、国際ロータリーの財団のガイドラインに従ったということです。日本事務局の局長が、自分から仕事を辞めましたので、代わりに本部から、クラブや地区の指導担当をしていた中井さんという方が事務局長として入り、その方が奨学生選考委員会のオブザーバーの委員として入ってくれました。

#### RI理事会決定事項の報告 (一部)

- ・ロータリーの研修を行う役職は、年功序列や地位に基かない。個人の研修と進行役としてのスキルに基づいて任命されるべきである。
- ・ロータリー研究会に一般会員も参加可能。オンライン参加を認める。

資料4は「RI理事会決定事項の報告」です。なるほどと思ったのは「ロータリーの研修を行う方は、年功序列や地位に基づかないで、個人の研修と進行役としてのスキルに基づいて任命されるべきである」。「単なる年功序列や地位で選ばないでくれ、若い人たちに訴える力を持っている方、上手に指導できる方を選んでくれ」ということです。ロータリー研究会も、日本の代表やガバナー中心ではなく、一般会員も希望する人は参加可能にして、全国からのオンライン参加も認めるべきだということで、オープンになってきたということです。

#### 2022年規定審議会への提出立法案

- シカゴ・4月10-14日  
オンライン・対面のハイブリッド方式
- ・制定案の提出は日本の各地区から合計26件、国別では最も多い。
  - ・次いでブラジル、RI理事会、米国、インド、台湾など。総計93件。
  - ・日本からの内容はクラブ例会と出席、クラブ運営、事務総長の任期などに関する。

資料5は「2022年規定審議会への提出立法案」です。これは去年の12月の段階ですが、今ちょうど4月にシカゴで開かれています。オンライン・

対面のハイブリッド方式です。初めてこのような形式で規定審議会が開かれています。3年に1回の審議会ですが、世界的なコロナ禍ですからハイブリッド方式で開いたということです。その制定案の提出は、日本から数としては結構出ていて、次はブラジル、RI理事会、アメリカ、インド、台湾などからで90件以上になります。昨日の結果を見ますと、引き下げられた立法案もあります。通った案では、「クラブ理事会では理事会終了後、30日以内に理事会議事録を会員に書面で引き渡す事」というものがありましたので、これは今後こういった形で実行するのか問題になると思います。そのほか興味のある事が色々ありますので、是非皆さんマイロータリーから入ってみてください。日本から提出された案件の内容はクラブ例会のあり方とか、出席とかロータリーの目的、クラブ運営あるいは事務総長の任期などに関するものです。

資料6はシンポジウムのセッションが3つありましたが、セッション1は会員増強のためのセッションです。「新会員の勧誘と選考の原則」で、ここで討論されたことは、これまでのロータリーで守られてきた「一業種一名」などはほとんどなくなった。

現在は「多様性、公平さ、広く迎える (DEI)」で、これはこれからたびたび出てきますが、これが会員増強をする時の中心になってきます。先程ノミニーが説明して下さった様に、広く市民に理解される、入りやすい、広く迎える、そういう方向に変わらなければなりません。それをノミニーが具体的なプログラムで提案してくれて、素晴らしいことだと思います。特にコロナ過で市民は孤独を感じる中ですから、ロータリーは原点に帰って、親睦と奉仕、コミュニケーションを深めたいということが議論されました。

**セッション1 新会員の勧誘と選考の原則**  
 これまでのロータリーで守られてきた「一業種一名」などが変化しました。  
 現在は「多様性、公平さ、広く迎える (DEI)」となる。会員がこの方針で、クラブや地域で実行し親睦と奉仕、コミュニケーションを深める。  
 孤独を感じるコロナ禍の中、原点回帰の時。

**ロータリークラブの創立 (原点)**  
 ・1905年2月23日 シカゴ市内にポール・ハリスら4人がロータリークラブを創設。目的:「一業種一名で、会員相互の親睦とサービスの実践。地域でも」  
 ・ポール・ハリスの言葉  
 「ロータリーの目標は抑制ではなく、奨励です。受け身ではなく、積極的人生を奨励しています。時代の変化と共に、ロータリーも絶えず変化が必要です」  
 ・「寛容の心がなければロータリーは壊れます」

資料9です。ロータリーの原点に戻ることが2回も出てきたので、私なりにロータリーの原点を簡単にまとめてみました。今から

117年前、1905年2月23日にシカゴ市内にポール・ハリスら4人がロータリークラブを創立しました。皆さんの知っているとおりで。その時の目的は「一業種一名で会員相互の親睦とサービスの実践」、日本語ではあとでサービスを奉仕と訳しましたが、アメリカでは最初から「サービス」という言葉です。あくまでもこれは会員相互です、しかし1、2年経つとそれでは自分たち仲間だけの助け合いではないか、それでは長続きしないということで、地域にも広がっていきました。これがロータリーの原点です。ポール・ハリスの言葉に「ロータリーの目標は抑制ではなく、奨励です。受け身ではなく、積極的人生を奨励しています。時代の変化と共に、ロータリーも絶えず変化が必要です」。先程の説明にありましたガバナーノミニー、ガバナー補佐の方は積極的な活動を、コロナ過であっても奨励して、工夫してやっているわけです。是非私たちのクラブも何か新たにプログラムを作って欲しいと思います。また、ポール・ハリスは「寛容の心がなければロータリーは壊れます」と、その言葉通り協力していかなければと思います。

**セッション2 未来を創る奉仕活動・環境問題対策**  
 ・地球環境保全プロジェクト 新井和雄G (茨城県) 二酸化炭素の排出を抑える活動。植林など。  
 「ロータリーの奉仕デー」を世界に呼びかけ、9月12日に世界から30の国と3万人の人々が参加した。  
 ・持続可能性の事例 (会員職業は印刷業、横浜市内) 自社太陽光発電と青森県横浜町の風力発電の電気を利用し、100%を再生可能エネルギーにした。

資料7のセッション2は未来を創る奉仕活動です。現在どういうプログラムに重点を置くべきか。ここでは環境問題対策がテーマになりました。事例としての一つは「地球環境保全プロジェクト」。茨城県のガバナーで新井和雄さんという方が二酸化炭素の排出を抑える活動を、ロータリー奉仕デーの9月12日にやろうと世界のガバナーに呼びかけたところ、世界のガバナーから反応があって、30の国と3万人の人が植林などに参加しました。もう一つの例は、横浜市内の会員で、職業は印刷業の方ですけれども「持続可能性の事例」として、自分の会社の太陽光発電をメインにして、青森県横浜町の風力発電の電気を加えて、会社で使用する電気の100%を再生可能エネルギーにしたという事例報告でした。

**記念講演 講師: 福岡伸一氏 (青山学院大学教授)**  
**「ポストコロナの生命哲学」**  
 人間もウイルスも自然の原則に従っている。  
 人間は高度な知識や技術で、自然や森林を開拓すると同時に破壊もし、自然・生物のバランスを崩す。  
 人間は新型コロナウイルス感染症に対して、ワクチンや治療薬を作る。しかし、ウイルスは変異する。  
 これを「動的平衡なせめぎあい」と言う。  
 今後、人間は地球・自然やウイルスと共生の道を歩むべき。

研究会で興味があった記念講演です。資料10にまとめましたが、青山学院大学教授で生物学が専門の福岡伸一さんの「ポスト

資料8はセッション3で「ロータリー未来形成委員会の案」。これはロータリー未来形成委員会が案を作って、その実験を試みているようですが、ロータリーの新しい管理組織です。世界のロータリーを20から40の地域に分ける。これは現在のゾーンにあたるのだと思いますが、そこに3年任期の「地域カウンスラー」、現在の理事にあたりますが、理事も2年から3年になる。2年任期の「セクションリーダー」。これは今のガバナーがやるようなことを行いますから、任期が2年になるわけです。今まで1年ですから頑張ったのですけれども、2年になると大変ですが、そういうふうにしなないと持続性が保たれない、そういう管理組織が今、検討されています。それに対して参加した日本のロータリアンの意見は、「世界は今、変化する時だから、クラブも地域も自立性を発揮して、ロータリーの原点に帰ってアップデートする時だ」と。先程ノミニーがおっしゃった具体的なプログラムは、ロータリーの敷居を低くする意味では、内容がピッタリだと思います。

**セッション3 ロータリー未来形成委員会の案**  
 ・新しいロータリーの統治機構 (管理組織) のモデル開発を検討中。世界のロータリーを20から40の地域に分ける。3年任期の地域カウンスラーと、2年任期のセクション・リーダーを置き、1年任期のガバナー制を無くす案。  
 ・世界が変化する今、クラブも自立性を発揮して、アップデートする時。ロータリーの原点に帰って。

トコロナの生命学」ということで、人間もウイルスも自然の原則に従っている。人間は高度な知識や技術で自然を開拓すると同時に自然を破壊してバランスを崩しているが、それを元に戻すときだ。ワクチンや治療薬を人間は作れば良いじゃないかと言いますが、ワクチンや治療薬を作って治療しても、ウイルスは自分たちが生き延びるために変異します。今、新しいXEという変異株が見つかりましたが、人間とウイルスとのせめぎ合い、生き残りをかけたせめぎ合いが世界の現状です。ですから、ウイルスをゼロにすることは出来ないのですから、人間は地球・自然やウイルスと共生の道を歩むべきだという結論でした。

**人間とウイルスとの共生とは**  
 ・人間とウイルスは、宿主と寄生体という関係。寄生体単独では増殖できない。  
 ・宿主が死にそうになると、弱体化する。人が抗体を持つと、ウイルスは増殖を減らす。  
 ・人に病気をもたらすウイルスはごくわずか。  
 ・寄生体は人間に一部の進化をもたらす。  
 ・人間と自然環境との共生はさらに重要になる。

具体的な事は資料11に書いています。結局ウイルスは寄生体で人間がいて初めて生きていける。ところがウイルスが寄生体と言っても、ほとんどのウイルス・寄生体はむしろ人間に役立っています。腸内細菌がいるから私たちは腸から栄養を吸収できて健康を保っています。ですからただ人間の知識で戦うだけでなく、人間と自

然環境の共生は非常に重要です。今、世界では経済面も考えて、生き残りをかけて、政治的にも大変苦労しています。

資料 12 です。今年 2 月に行われた国際協議会で会長エレクトが、やはりこの DEI（多様性、公平さ、インクルー

**2022年国際協議会の印象**  
(2022年2月7-14日、全員がオンライン参加)

ジェニファー・ジョーンズ会長エレクトの説明：「会員による DEI への理解と行動が、ロータリの未来を強化する」

1. **多様性**：職業、年齢、性別、婚姻状況、社会経済的立場、思考、信念、民族、宗教、文化の違いを尊重する。
2. **公平さ**：情報、チャンス、支援、世代間、宗教色や政治色に関係なく、公平にし、平和を求める。
3. **インクルージョン**：だれでも歓迎。自分が暖かく受け入れられて、大切にされている。だれでも活動に参加できる。

ジョン）という三つの事を上げていました。多様性で職業、性別、年齢、婚姻状況、信念、民族、宗教など色々な違いを尊重する、公平さは情報、チャンス、支援、世代間、宗教色や政治色に関係なく、公平にして平和を求めるべきだ。インクルージョンは、だれでも会員として歓迎する。自分がクラブで暖かく受け入れられて大切にされている。だれもが活動に参加できるということです。

今日、私が述べたことは、具体的には資料にまとめました。以上です。ありがとうございました。